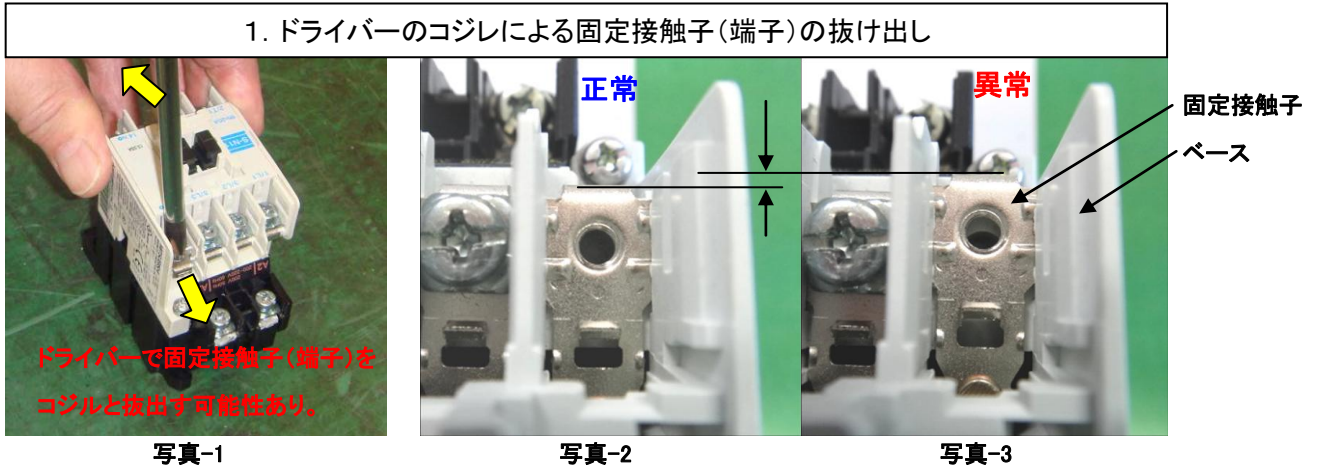


シート No.	分類	表題	機種
BQN-S8-9497-11 (1/2 頁)	予防保全	ドライバーコジレによるトラブル	全般

1. はじめに

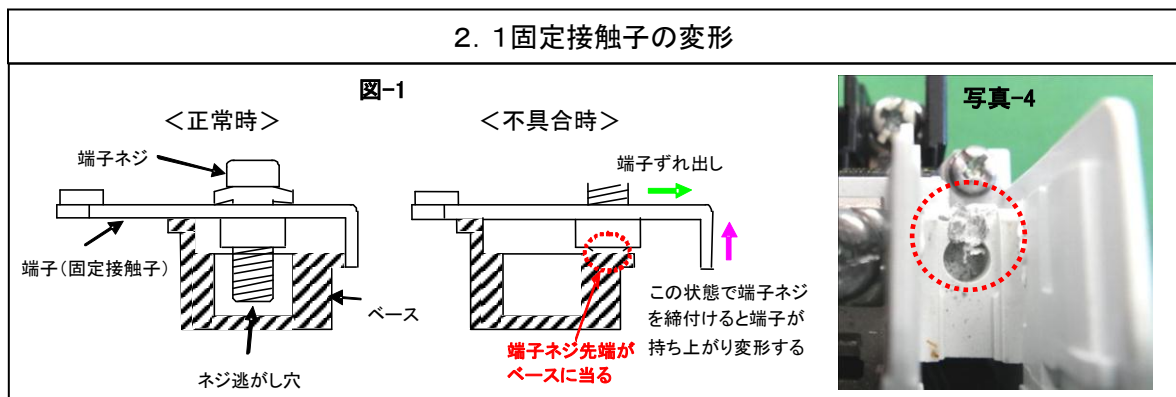
電磁接触器お取扱い時に誤ってドライバーをコジレさせ、固定接触子(端子)が抜け出した際のトラブル報告を受けております。ここでは、トラブル内容と注意事項について下記の通り紹介します。



2. トラブル内容

2.1 ベースの破損

固定接触子挿入が抜け出した状態(写真-3)で配線作業を実施した場合、端子ネジ先端がベースの逃がし穴から外れた状態で端子ネジを締め付けることになり(図-1)、端子ネジが逃がし穴に納まらず、ベースが破損します。(写真-4)



2.2 接触不良

固定接触子が抜け出した状態では、可動接触子と固定接触子が接触しない状態となり、接触不良となる可能性もあります。

3. 予防と処置

端子ネジの締め、緩めを行う際は、ドライバーの傾きに注意いただき、(写真-1)の様にならない様、ご注意ください。また、もし固定接触子が抜け出した場合は、ネジ締め前に固定接触子を押し込んで下さい。

<注意>

固定接触子を押し込む時は、無造作に挿入すると、固定接触子先端で可動接触子を押し出すことがあります。(写真-5、6 参照)



シート No.	分類	表題	機種
BQN-S8-9497-11 (2/2 頁)	予防保全	ドライバーコジレによるトラブル	全般

4. 固定接触子挿入時の注意事項

固定接触子は正規位置(ネジ逃がし穴が見える位置)までドライバー等を使用し、しっかり挿入してください。

また、挿入に際し、可動接触子を押し出さないよう下記要領で挿入してください。

4. 固定接触子(端子)挿入要領

S-N10~N35, N50~N125 電磁接触器 補助固定接触子 } 挿入要領
 SR-N, SR-K 電磁継電器 固定接触子 }

●適用
 組替えまたは実験などによって固定接触子を抜き出し、それを無造作に再挿入すると、固定接触子先端で可動接触子を押し出すことがありますので、挿入要領を説明します。

●挿入要領

(1) b 接点の場合
 可動部先端を下図のようにドライバー等で押し込んで投入状態に、また機械ラッチ式はラッチを掛けた状態にして、固定接触子を挿入してください。開放状態で挿入すると右図のように、可動接触子が押し出されて脱落します。

正規

不可

(2) a 接点の場合
 a 接点の場合は、可動部を開放状態で挿入してください。b 接点のように、可動部を押し込んで挿入すると、可動接触子が押し出されて脱落します。

正規

機械ラッチ式はラッチを外して (a 接点 OFF 状態) 挿入します。

4. 固定接触子が抜け出しやすい理由

電磁接触器の固定接触子は、接点状態を定期的にメンテナンスして頂くために脱着可能な構造としており、接触子本体に固定接触子を圧入する構造を採用しており、完全に固定されている状態ではありません。したがって、ドライバーでのコジレ等により抜出すことがありますので、抜け出した場合は、上記方法により再挿入をお願い致します。

尚、正規挿入位置で端子ネジが締め付けられている場合は、固定接触子がズレ出すことはありません。

以上

発行日		三菱電機株式会社 名古屋製作所
2014年8月26日		